

タレント

◆山崎 怜奈さん



やまざき・れな 1997年生まれ。東京都出身。慶応義塾大学。アイドルグループ・乃木坂46で2022年まで活動。20年からラジオ番組「山崎怜奈の誰かに話しかかったこと。」(TOKYO FM)でパーソナリティーを務める。テレビの情報番組やクイズ番組にも出演している。25年9月に著書「まっすぐ生きてきました」(マガジンハウス)が発売された。

## 5紙を購読して比較

新聞は5紙をデジタル版で購読している。選挙など大事なニュースは、タブレット画面で紙面のレイアウトを確認し、見出しの内容や扱いの大きさを比べる。

子どもの頃から本を読むのが好きで、自宅では小学生新聞、学校では図書係を務め図書室で新聞を読んでいた。ラジオ番組やテレビの選挙特番に出演する機会が増えた今は、放送局の報道フロアで読むことも多い。

複数紙を読むのは、同じ事実でも、記事の内容は各紙で差があるからだ。番組で発言を求められることが

増えたので、いろいろな視点を取り入れた上で、自分の言葉で話すよう心がけている。

若い世代は交流サイト(SNS)から情報を得ることがほとんど。私もSNSを活用している。とは言え、SNSから早く簡潔に得られる情報だけをうのみにするのは危ういと思う。新聞記事は手間をかけて裏取りされ、内容の正確性や充実度は信用できる。

最近の選挙では新聞がファクトチェック報道などに力を入れ、正確な情報発信を通じて有権者に冷静な判断を呼びかけているのを目にする。客観性のあるデーター

タに基づき、さまざまな記者の目が入った確かな記事を伝えるんだという、発信源としてのプライドを感じた。

新聞のサイトで利用するのは文字情報だけではない。忙しいときは音読機能を利用して耳で記事を聞くほか、記者がニュースを解説する音声番組も活用する。

震災や新型コロナウイルス禍といった大きなニュースが起きたとき、検索機能を使って過去にさかのぼって記事を読むこともある。

一回しかない人生をよりよく生きるには、過去から学ぶことが大切だと思う。